



press release

朝日新聞

朝日新聞社 〒104-8011 東京都中央区築地 5-3-2

〈報道関係のみなさま〉

あなたの家に眠る写真がカラー化されるかも！

第2回 朝日新聞フォトアーカイブ モノクロ写真コンテスト

3/15 から開催

株式会社朝日新聞社(代表取締役社長:渡辺雅隆)はモノクロ写真に限定した「第2回 朝日新聞フォトアーカイブ モノクロ写真コンテスト」(<http://www.asahi.com/information/db/photocontest/2020/>)を3月15日(月)よりInstagramで開催します。(協賛:株式会社光文社、株式会社PFU)



本コンテストはモノクロ写真のみを対象としています。今回の募集テーマは「変化」、「お宝写真」。コロナ禍に見舞われた中での社会変化、あなた自身の変化、日常におけるささいな変化など、なにか「変化」にまつわる写真を募集しています。「お宝写真」は家に眠る古い写真を対象とします。古いアルバムをめくり、あなただけのお宝写真を見つけて応募してください。「お宝写真」の入選作品は審査員の庭田 杏珠 × 渡邊 英徳「記憶の解凍」プロジェクトによるカラー化を予定しています。



press release

朝日新聞

朝日新聞社 〒104-8011 東京都中央区築地 5-3-2

■フォトコンテスト概要

【コンテスト名】

第2回 朝日新聞フォトアーカイブ モノクロ写真コンテスト

【応募方法】

インスタグラム上で@asahi_photoarc をフォロー&指定のハッシュタグを付けて投稿。

【応募期間】

2021年3月15日(月)～2021年4月16日(金)

【審査員】

1. 庭田 杏珠 × 渡邊 英徳 「記憶の解凍」プロジェクト／東京大学
2. 朝日新聞社 映像報道部 部長 大野 明
3. 朝日新聞社 DI 本部法人営業部 写真事業担当部長 柏木 和彦

【テーマ】

- ① 変化
- ② お宝写真

※②は、あなたの家に残る素敵なお宝写真を募集します。フィルム写真や、昔に撮影した貴重な写真などが該当します。「お宝写真」部門の最優秀賞作品、朝日新聞フォトアーカイブ賞の計3作品は審査員(渡邊英徳、庭田杏珠)によるカラー化を予定しています。

【賞品】

・最優秀賞

各テーマ1名(合計2名) amazon ギフト券 3万円分贈呈

・朝日新聞フォトアーカイブ賞

各テーマ2名(合計4名) amazon ギフト券 5千円分贈呈

その他、協賛社賞を予定。



press release

朝日新聞

朝日新聞社 〒104-8011 東京都中央区築地 5-3-2

【結果発表】

2021年6月ごろ

コンテストの詳細は以下のサイトよりご覧ください。

<http://www.asahi.com/information/db/photocontest/2020/>

<朝日新聞フォトアーカイブとは>

朝日新聞社が所蔵する明治時代から今日のニュースまでの約 2000 万枚に及ぶ写真の管理保存、販売をおこなっています。「事実という説得力。」を合言葉に、写真価値の創造を目指しています。

<https://photoarchives.asahi.com/>

<庭田 杏珠 × 渡邊 英徳「記憶の解凍」プロジェクトとは>

AI(人工知能)と人のコラボレーションによって写真をカラー化し、対話の場を生み出すプロジェクト。戦前の広島・沖縄戦・空襲・原爆投下・終戦など自動カラー化ののち、写真提供者との対話、資料、SNSでの時代考証などを踏まえて仕上げた「AI とカラー化した写真でよみがえる戦前・戦争」(光文社)を出版。各メディアで話題を呼んでいる。朝日新聞フォトアーカイブからも写真を提供している。
